

大会名称: 第3回FIBA U-17男子バスケットボール世界選手権大会

開催場所: Al Shabab Arena(アラブ首長国連邦・ドバイ)

試合区分: No. 133 男子 決勝ラウンド・9-16順位決定戦トーナメント コミッショナー: Goran RADONJIC (FRA)

期 日: 2014(H26)年8月14日 (木)

主審: Tomasz TRAWICKI (POL)

開始時間: 12:00

副審: Harja JALADRI (INA), Jesed DIAZ BLONCOURT (PUR)

終了時間: 15:40

日本

(通算0勝5敗)

●
56

8 -1st- 20
14 -2nd- 21
10 -3rd- 30
24 -4th- 12
-OT1-
-OT2-
-OT3-

○
83

イタリア

(通算3勝2敗)

第3回FIBA U-17男子バスケットボール世界選手権大会は大会5日目。日本は決勝ラウンド 9-16位順位決定トーナメント、現在2勝2敗のイタリアと対戦。

1ピリオド

ガード以外すべて2m越えのイタリアと対戦。両チームハーフコートマンツーマンでスタートする。イタリアは高さを生かしオフェンスで得点を重ねる中、日本は#10牧が連続ジャンプシュートで対抗。#14八村の得点も決まるが、高さのあるイタリアに苦戦し8-20で終了。

2ピリオド

日本は#14八村がインサイドを攻め、バスケットカウントからフリースローで得点し、順調な出だし。しかしイタリアは3本の3Pなどを決め13-31と引き離されてしまう。日本は#15平岩もインサイドを攻め、得点を決めるが徐々に引き離され、#14八村の3連続得点があるも22-44で前半を折り返す。

3ピリオド

後半早々、#4前田のミドルシュートが2本決まるが、高さのあるイタリアのインサイドに苦戦。日本は、攻め手がないままイタリアに16得点を許す。その後、ディフェンスを頑張り24秒バイオレーションを2回取るも32-71と大きくリードを許す。

4ピリオド

#14八村の3Pから連続得点でスタート。#10牧の得点も重なり、43-75と点差を縮める。残り6分日本はゾーンプレス仕掛け、#14八村のジャンプシュートやダンクショットカウントで流れを引き戻す。残り4分、#7武藤のスティールが、相手のアンスポーツマンライクファールを誘い出し、続いて3Pが決まりムードを盛り上げる。#14八村や#10牧の活躍で加点し追い上げるも、56-83で惜敗した。

決勝ラウンド、日本次戦は8月15日(金) 14:15(現地時間)、13位-16位順位決定トーナメント、アラブ首長国連邦と対戦する。

担当: 公益財団法人日本バスケットボール協会